【様式 1-1】

芦別市橋梁長寿命化計画

令和 ７ 年 ４ 月

令和 ８ 年 ７ 月改訂

芦　別　市

目　次

１．背景と目的　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1

（１）背景　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1

（２）目的　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2

２．対象橋梁　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2

３．基本方針　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3

（１）日常的な維持管理に関する基本的な方針　・・・・・・・・・・・・・・・・　3

（２）補修による健全性の回復に関する基本的な方針　・・・・・・・・・・・・・　4

（３）集約・撤去による維持管理費用の削減に関する基本的な方針　・・・・・・・　5

（４）管理橋梁の維持管理区分方針　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5

（５）修繕計画の基本方針　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　6

（６）新技術の活用方針　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　7

４．橋梁点検　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　8

５．補修対策橋梁の優先順位　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　9

６．次回点検時期・修繕内容および時期　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　9

７．計画策定担当部署　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　9

１．背景と目的

（１）背　景

本市が管理する道路橋は７０橋梁であり、既に建設後５０年を経過している橋梁は１４橋（２０％）存在しています。更に２０年が経過すると５３橋となり、その割合が全体の７６％を占めており急速に増加しています。

今後、高齢化する橋梁の増加に伴い、見込まれる橋梁の修繕・架け替えに要する経費に対し、可能な限りのコスト縮減に向けた取り組みが必要となるところです。

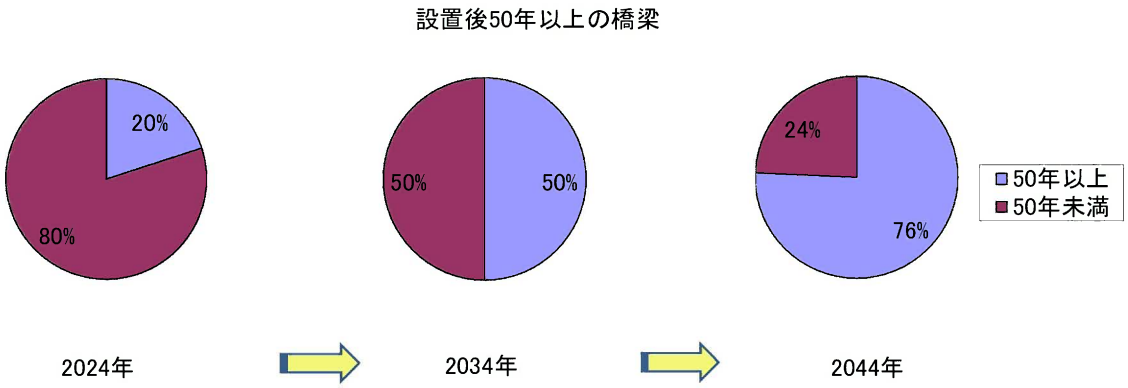


図-1　建設後 50 年以上の橋梁箇所数の増加推移

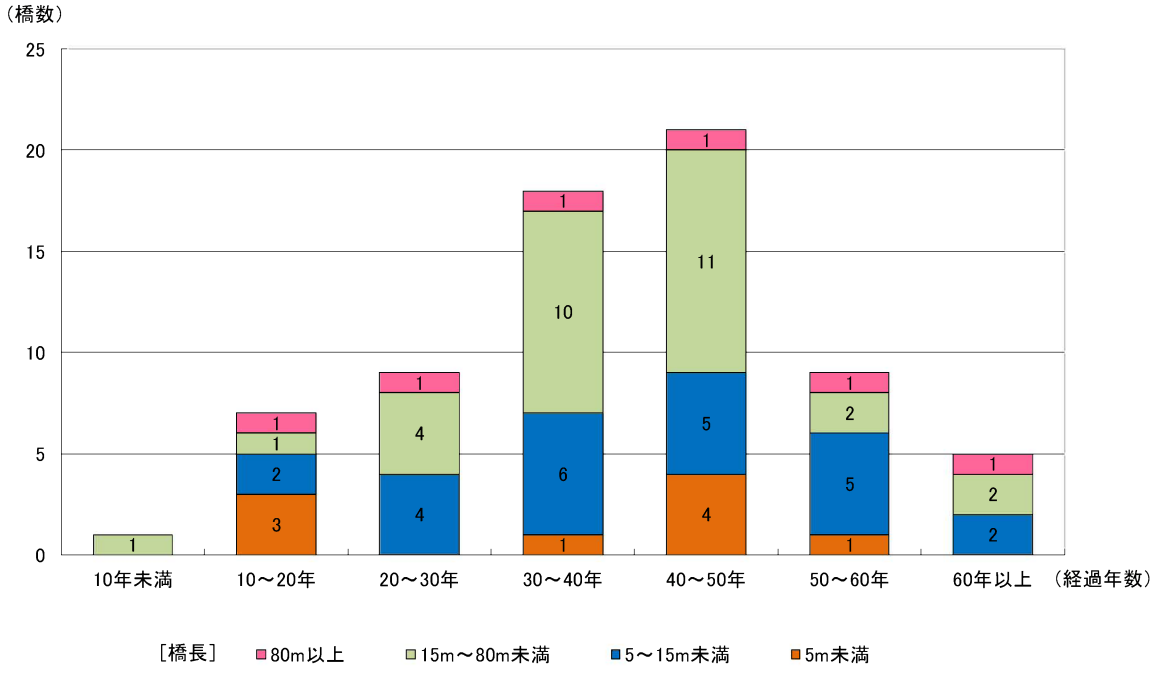


図-2　経過年数別の橋梁数

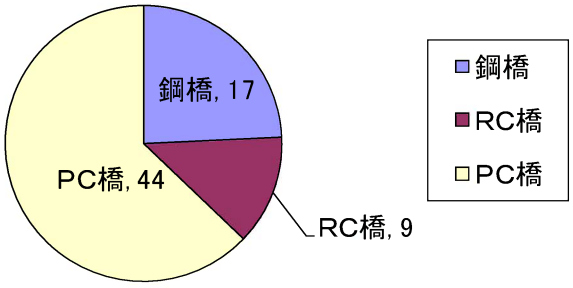


図-3　橋種別の橋梁数

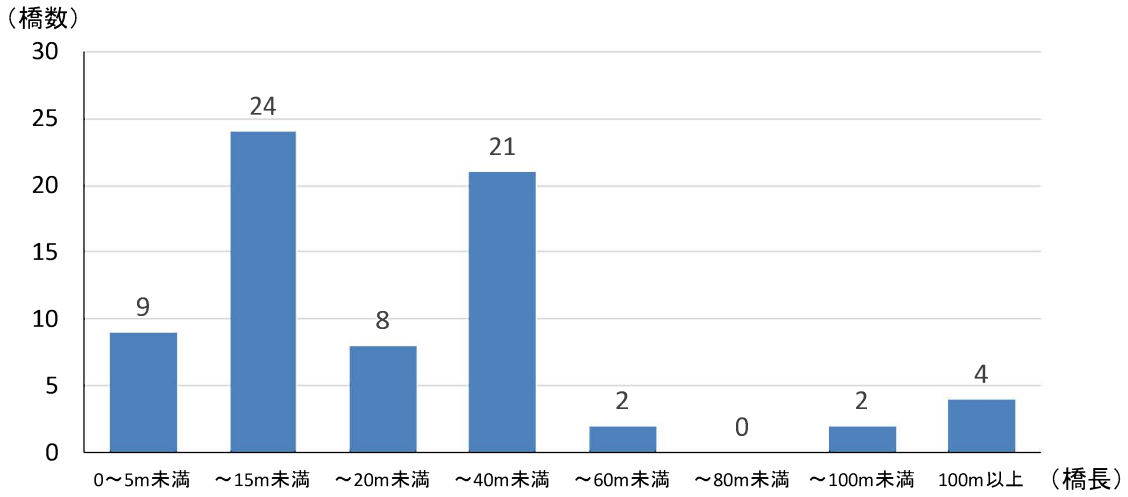


図-4　橋長区分別の橋梁数

（２）目　的

本市に架橋されている橋梁の長寿命化と橋梁の修繕、架け替えに要する費用を縮減するため、定期点検による損傷状態の把握を行い、予防的な修繕や架け替えを含め計画的に進めます。

道路交通の安全性・信頼性を確保するため、これまでの事後的な対応から計画的かつ予防的な対応に転換を図ることを目的に橋梁長寿命化計画を策定します。

２．対象橋梁

本市が管理する全７０橋を対象とします。（別紙 芦別市管理橋梁一覧）

３．基本方針

（１）日常的な維持管理に関する基本的な方針

橋梁を良好な状態に保つため日常的なパトロールを実施し、定期的な維持管理として、路面排水や橋台沓座の周辺清掃等を行います。

なお、その時期については、雪溶け時期の５月と雪が降り始める前の１０月に定期清掃を実施するほか、大雨による河川の増水時にも点検を実施します。

【パトロール】

・通常時（道路・橋梁）：路線毎に月３～４回の頻度で目視による。

・災害・緊急時　　：豪雨（20㎜/h）、地震時（震度４）などの災害発生時は即座に現橋を把握するため、２班体制の班編成を行い、市内全域のパトロールを行う（橋台や橋脚の洗掘、橋梁本体の異常の有無、ひび割れ発生などを注視）。

通常の維持作業状況（排水桝付近の土砂清掃）

（２）補修による健全性の回復に関する基本的な方針

橋梁点検及び健全性診断結果により、対策が必要な損傷状態である橋梁が確認されたときには、補修工事による対策を基本方針とし、損傷した部材やその原因となった部材を補修します。

但し、損傷状態等より架け替えが必要な橋梁については、架替工事を対策方針とします。（橋長によっては、BOX カルバートへの架け替えを含む）

補修については、経済的な補修工法を選定しますが、橋梁によっては高耐久塗装（鋼部材）や支承の金属溶射などの補修工法のほか、新技術によるコスト削減を検討します。

補修工事事例【旭公園線：見返橋】

	補修前	補修後
コンクリートの剥離（断面修復工）		
鋼部材（支承）（塗装塗替）		
支承モルタル欠損（モルタル補修工）		

（３）集約・撤去による維持管理費用の削減に関する基本的な方針

橋梁の集約・撤去にあたっては、周辺道路の整備状況、代替路の有無及び橋梁の損傷状況等を踏まえ、将来的な利用状況を十分に考慮して、必要に応じて橋梁の集約化・撤去を行います。

令和１１年度までに、集約化・撤去の条件を満たす１橋を集約するなど、年間の橋梁維持管理費約 350 万円に対し、約５万円のコスト削減を目標とします。

（４）管理橋梁の維持管理区分方針

各橋梁の条件による維持管理区分は、以下のとおりとします。

維持管理区分の判定基準

重要度	定義	維持管理区分	該当する橋梁条件
高	【予防維持管理】 ・劣化が顕著化した後では、対策が困難なもの ・劣化が外へ現れては困るもの ・設計耐用期間が長いもの	A	・隣接する市町村と分割管理している橋梁 【平班橋】【芦富橋】
	【事後維持管理】 ・劣化が外へ現れてからでも対策が可能なもの ・劣化が外へ現れても機能に影響しないもの	B	・維持管理区分A以外の橋長80m以上の橋梁 ・早期復旧が困難な橋梁 【泰山橋】【啓南大橋】【見返橋】【緑泉橋】【川岸大橋】 ・芦別木質バイオマス開発協同組合への唯一のアクセス経路 【降星橋】
	【事後維持管理】 ・使用できるだけ使用すればよいもの ・第三者の通行への影響度に関する安全性を確保すればよいもの	C	・橋長80m未満の橋梁
低	【統廃合検討】 ・利用状況や橋梁の損傷等により路線の廃止や橋梁の撤去等を行うもの	D	・廃止検討橋梁

各条件により区分された橋梁内訳は以下のとおりです。

橋梁内訳

維持管理区分Ａ：　２橋

維持管理区分Ｂ：　６橋

維持管理区分Ｃ：62 橋

維持管理区分Ｄ：　０橋

（５）修繕計画の基本方針

修繕計画については、各橋梁の健全性診断結果を基に優先順位を策定します。

従来の事後保全型の対策から予防保全的な対策にシフトすることで、事業費の縮減に努めます。

なお、修繕計画の基本方針により、維持管理区分は以下のとおりとします。

優先順位付け

橋梁診断区分 ＼ 維持管理区分		A　区分	B　区分	C　区分	D　区分
		重要度　高い ⟷ 低い			
Ⅰ	良い	定期点検により管理			
Ⅱ		経過観察または予防保全による補修等も検討			
Ⅲ		早期に措置を講ずべき状態			点検強化 撤去・廃止を検討
Ⅳ	悪い	他市と協議の上、方針を策定	大規模修繕・更新を検討	大規模修繕・更新 路線廃止を検討	撤去・廃止を検討

a)診断区分は、定期点検マニュアルによる

Ⅰ：健全　　道路橋の機能に支障が生じていない状態。

Ⅱ：予防保全段階　　道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。

Ⅲ：早期措置状態　　道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。

Ⅳ：緊急措置段階　　道路橋の機能に支障が生じている。又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

b）維持管理区分

A区分：　　・隣接する市町村と分割管理している橋梁。
【平班橋】【芦富橋】

B区分：　　・維持管理区分A以外の橋長80m以上の橋梁。
【泰山橋】【啓南大橋】【見返橋】【緑泉橋】【川岸大橋】
・芦別木質バイオマス開発協同組合への唯一のアクセス経路。
【降星橋】

C区分：　　・橋長80m未満の橋梁。

D区分：　　・廃止検討橋梁。

c）定義について

予防保全：　　補修の検討及び損傷の拡大・進行を止める措置の実施。

早期措置：　　定期点検等で損傷が発覚した時点より5年以内の損傷の改善及び利用者・第三者被害を防止する交通規制等の実施。

（６）新技術の活用方針

新技術の活用にあたっては、維持管理の高度化・効率化を目的に、デジタル技術の導入を検討します。

令和７年度から点検する７０橋のうち、２巡目の点検において橋梁点検車を使用した２２橋については、従来技術（点検車・ロープアクセス等）と新技術（ドローン、画像解析等）を比較検討し、新技術の活用を目指します。

また、補修工事においても新技術の活用を積極的に実施し、性能の向上や工期短縮及び費用削減を目指します。

令和１１年度までに点検及び補修工事を実施する橋梁については、橋長 80m以上の長大橋をドローン等で点検するなど、新技術の活用を検討し 250 万円程度のコスト削減を目標とします。

【新技術の参考例】

写真 1―「新技術利用のガイドライン(案)　H31 年 2 月国土交通省」掲載カタログより抜粋

写真 2―「床版防水ウルトラシール工法」NETIS【KK-200008-A】より抜粋

４．橋梁点検

橋梁点検は、「北海道市町村橋梁点検マニュアル（案）」に基づき、５年に１度の定期的な近接目視により実施しています。

また、点検によって得られた損傷度を基に橋梁健全性診断判定を行います。

損傷度判定区分の標準

判定区分	一　般　的　状　況
a	点検の結果から、損傷は認められない。
b	損傷が認められ、その程度を記録する必要がある。
c	損傷が認められ、継続的な観察を行う必要がある。
d	損傷が大きく、詳細調査を実施し、補修・補強の要否の検討を行う必要がある。
e	損傷が著しく、交通安全確保の支障となる恐れがある。

判定区分

区分		状態
Ⅰ	健全	道路橋の機能に支障が生じていない状態。
Ⅱ	予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
Ⅲ	早期措置段階	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
Ⅳ	緊急措置段階	道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

（参考）

令和５年度までの橋梁点検及び健全性診断の結果は、以下のとおりです。

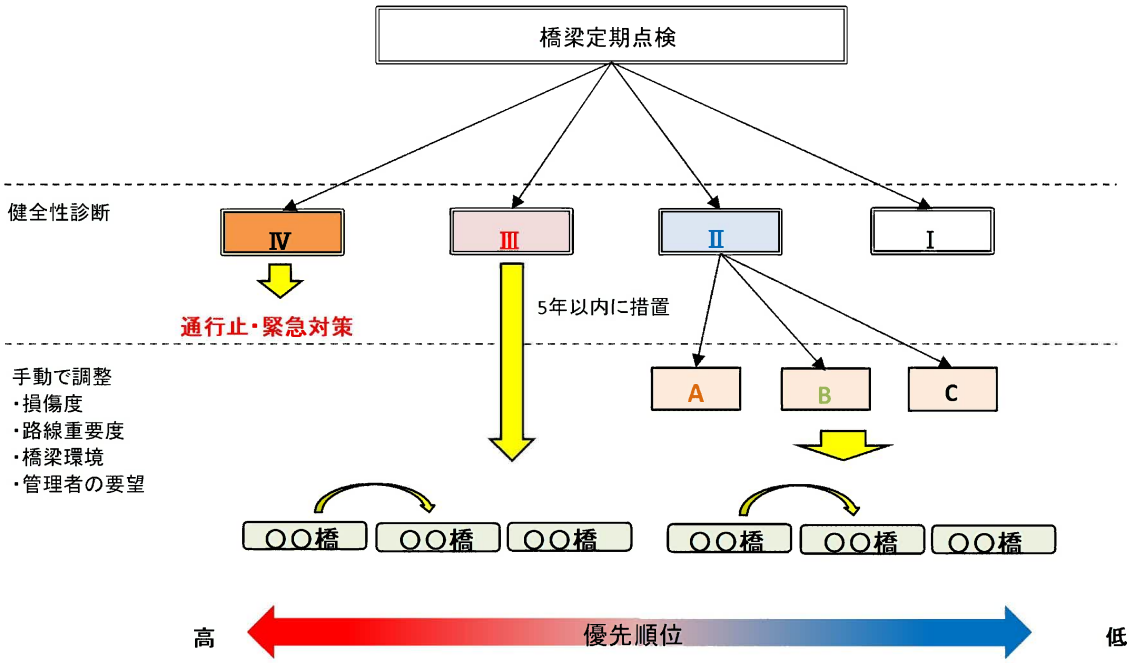
健全度Ⅰ	２４橋
健全度Ⅱ	３６橋（うち点検後に補修実施が７橋）
健全度Ⅲ	１０橋（うち点検後に補修実施が３橋、補修予定が７橋）
健全度Ⅳ	０橋

５．補修対策橋梁の優先順位

補修対策を実施する橋梁の優先順位については、健全性診断評価を基に決定します。

健全性判定が同等の場合は、維持管理区分、架設年度（供用年）の順により優先順位を選定し、必要に応じて損傷状況から順位を調整します。

なお、最新の点検から本計画策定までの間に補修工事済みの橋梁については、健全性が改善されていると判断し、健全度Ⅰ相当として扱います。



６．次回点検時期・修繕内容及び時期

基本方針及び策定された優先順位に従い、今後１０年間における維持管理及び修繕計画を示します。（様式１－２のとおり）

なお、修繕内容及び時期については、点検・診断結果によって変更になる場合があります。

７．計画策定担当部署

芦別市　経済建設部　都市建設課　土木係

〒075-8711　北海道芦別市北１条東１丁目３

Tel　0124-27-7380　　Fax　0124-22-9696

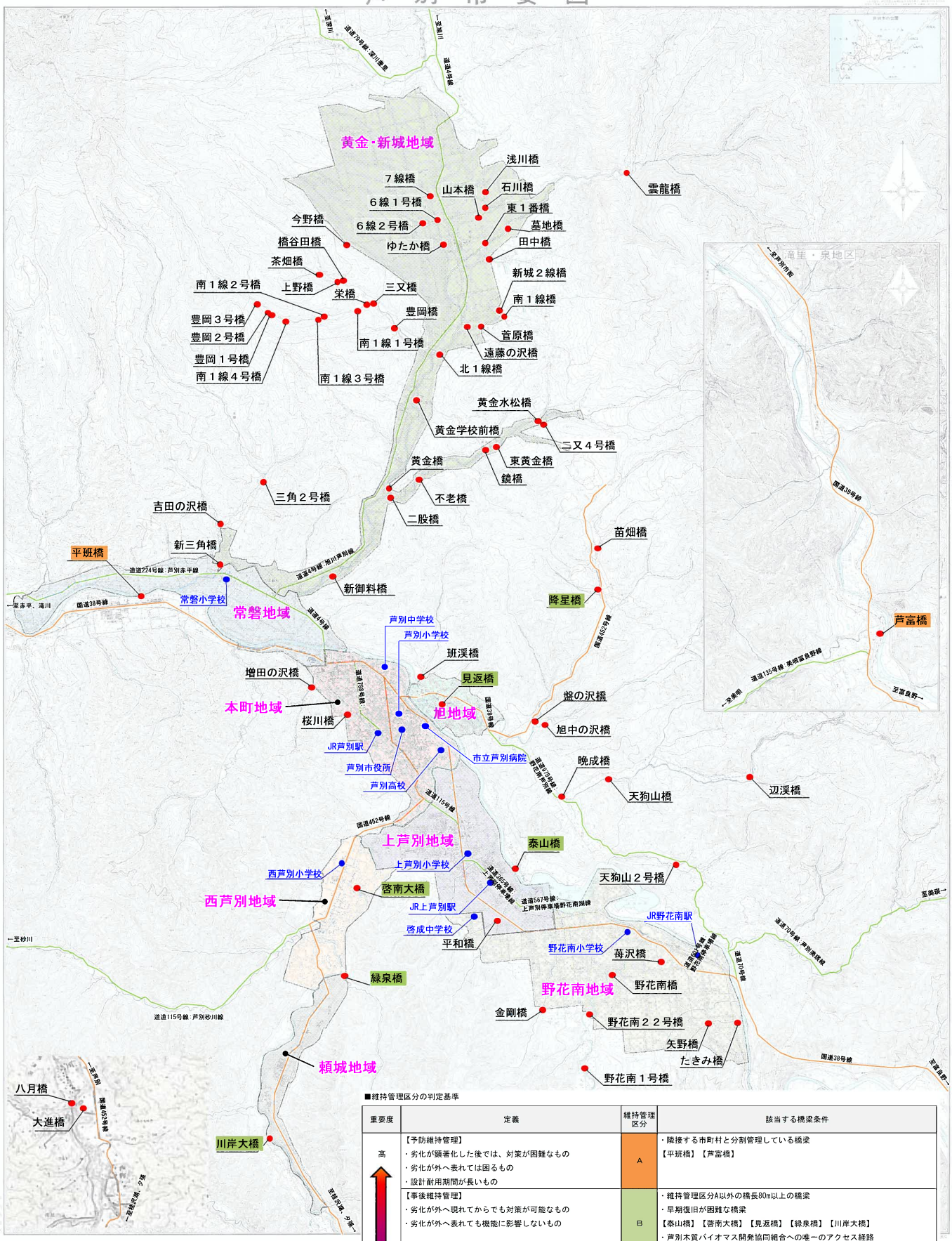
芦別市管理橋梁一覧　（令和６年度）

番号	路線名	管理番号	橋梁名	橋梁延長	橋種及び形式	架設年次	経過年数	設計荷重
1	島の下停車場線	2126	芦富橋	30.30	PC 橋	1988	36	TL-20
2	福住平岸線	2105	平班橋	134.00	鋼橋	2007	17	B 活荷重
3	上芦別西芦別線	2103	啓南大橋	149.36	鋼橋	1958	66	TL-14
4	旭公園線	2116	見返橋	87.40	鋼橋	1972	52	T20, L14
5	上芦別旭線	2102	泰山橋	158.80	PC 橋	1979	45	TL-20
6	東頼城本通	2128	緑泉橋	98.00	PC 橋	1986	38	TL-20
7	スターパークライン	2337	降星橋	19.16	PC 橋	1993	31	TL-20
8	頼城川岸線	2221	川岸大橋	125.00	鋼橋	1999	25	B 活荷重
9	頼城川岸線	2222	八月橋	20.60	鋼橋	1960	64	TL-14
10	頼城川岸線	2223	大進橋	57.40	PC 橋	1960	64	TL-10
11	常磐三角線	2205	三角２号橋	8.50	PC 橋	1961	63	TL-10
12	野花南 47 線	2219	矢野橋	10.40	鋼橋	1961	63	TL-14
13	みやもと通	2101	桜川橋	3.00	BOX	1965	59	TL-14
14	天狗山２線	2328	天狗山２号橋	9.60	PC 橋	1967	57	TL-14
15	豊岡南１線	2311	豊岡２号橋	7.00	PC 橋	1968	56	TL-10
16	豊岡南１線	2312	豊岡３号橋	6.70	PC 橋	1968	56	TL-10
17	旭本通東線	2120	辺渓橋	20.80	鋼橋	1968	56	TL-10
18	新城墓地線	2321	墓地橋	18.46	鋼橋	1970	54	TL-10
19	黄金本通東線	2208	二又４号橋	14.63	PC 橋	1971	53	TL-14
20	豊岡南１線	310	豊岡１号橋	6.40	RC 橋	1974	50	TL-10
21	本町９号増田沢線	2201	増田の沢橋	2.40	BOX	1975	49	TL-20
22	野花南 44 線	2218	野花南橋	21.40	鋼橋	1975	49	TL-20
23	新城本流線	2318	雲龍橋	23.00	鋼橋	1975	49	TL-20
24	豊岡本通	2112	豊岡橋	26.16	鋼橋	1976	48	TL-14
25	豊岡南１線	2308	南１線３号橋	6.32	PC 橋	1976	48	TL-14
26	豊岡本通	2113	栄橋	10.41	PC 橋	1977	47	TL-20
27	黄金新城線	2111	東黄金橋	28.00	PC 橋	1977	47	TL-20
28	豊岡南１線	2306	南１線１号橋	17.67	PC 橋	1977	47	TL-10
29	豊岡新城線	2314	三又橋	15.90	PC 橋	1977	47	TL-14
30	班渓山線	2117	班渓橋	15.66	PC 橋	1978	46	TL-20
31	野花南落辺線	2334	苺沢橋	5.00	PC 橋	1980	44	TL-20
32	新城水松線	2212	南１線橋	3.06	BOX	1981	43	TL-14
33	常磐新城線	2207	二股橋	24.10	PC 橋	1981	43	TL-20
34	油谷本通	2123	苗畑橋	18.70	PC 橋	1982	42	TL-20
35	新城東１番線	2216	東１番橋	27.00	PC 橋	1982	42	TL-20
36	黄金北１線	2304	北１線橋	27.09	PC 橋	1982	42	TL-14
37	豊岡４線	2315	橘谷田橋	8.44	PC 橋	1982	42	TL-14
38	野花南 22 号西線	2329	金剛橋	4.80	BOX	1982	42	TL-20
39	新城６線	2320	℄線２号橋	2.98	BOX	1983	41	TL-14
40	常磐新城線	2104	遠藤の沢橋	12.54	PC 橋	1984	40	TL-14
41	新城６線	2115	℄線１号橋	14.54	PC 橋	1985	39	TL-20
42	上芦別 40 線	2202	平和橋	8.00	BOX	1986	38	TL-10
43	新城東１番橋	2217	田中橋	2.13	BOX	1986	38	TL-10
44	天狗山４線	2324	天狗山橋	21.50	PC 橋	1987	37	TL-14
45	黄金本通	2106	黄金橋	33.60	PC 橋	1988	36	TL-20
46	黄金本通	2107	不老橋	21.76	PC 橋	1988	36	TL-20
47	黄金零号線	2109	黄金学校前橋	36.10	PC 橋	1988	36	TL-20
48	野花南中央通	2121	野花南１号橋	25.70	PC 橋	1988	36	TL-20
49	黄金細谷線	2305	菅原橋	12.54	PC 橋	1988	36	TL-20
50	豊岡本通	2114	上野橋	12.14	PC 橋	1990	34	TL-20
51	新城東１番線	2215	山本橋	10.04	PC 橋	1990	34	TL-20
52	旭北１線	2335	旭中の沢橋	25.10	PC 橋	1990	34	TL-20
53	黄金本通東線	2224	黄金水松橋	23.56	PC 橋	1991	33	TL-20
54	旭北１線	2323	盤の沢橋	26.20	PC 橋	1991	33	TL-20
55	野花南滝里線	2327	たきみ橋	12.54	PC 橋	1994	30	TL-14
56	新城７線	2214	７線橋	14.30	PC 橋	1996	28	A 活荷重
57	常磐御料線	2108	新御料橋	47.20	PC 橋	1997	27	TL-14
58	新城６線	2319	石川橋	11.50	PC 橋	1999	25	A 活荷重
59	新城東１番仲線	2336	浅川橋	9.10	PC 橋	1999	25	A 活荷重
60	旭本通東線	2119	晩成橋	29.10	PC 橋	2000	24	A 活荷重
61	新城北線	2211	ゆたか橋	20.56	PC 橋	2000	24	A 活荷重
62	黄金二又橋	2110	鏡橋	18.00	鋼橋	2002	22	B 活荷重
63	常磐小林の沢線	2303	吉田の沢橋	10.10	PC 橋	2004	20	A 活荷重
64	豊岡北２線	2316	今野橋	4.70	鋼橋	2005	19	TL-10
65	豊岡５線	2317	茶畑橋	6.00	鋼橋	2005	19	TL-14
66	野花南 22 号西線	2326	野花南 22 号橋	18.20	鋼橋	2005	19	TL-14
67	豊岡南１線	2307	南１線２号橋	3.80	鋼橋	2010	14	TL-10
68	豊岡南１線	2309	南１線４号橋	12.00	鋼橋	2011	13	TL-14
69	新城２線	2213	新城２線橋	3.00	BOX	2012	12	A 活荷重
70	常磐三角線	2204	新三角橋	22.10	鋼橋	2018	6	A 活荷重

※着色部は　現在建設後 50 年経過している橋梁、2040 年（20 年後）に建設後 50 年経過する橋梁

番号欄凡例　■：維持管理区分Ａ、■：維持管理区分Ｂ、□：維持管理区分Ｃ、■：維持管理区分Ｄ

芦 別 市 要 図



■維持管理区分の判定基準

重要度	定義	維持管理区分	該当する橋梁条件
高	【予防維持管理】 ・劣化が顕著化した後では、対策が困難なもの ・劣化が外へ表れては困るもの ・設計耐用期間が長いもの	A	・隣接する市町村と分割管理している橋梁 【平班橋】【芦富橋】
	【事後維持管理】 ・劣化が外へ現れてからでも対策が可能なもの ・劣化が外へ表れても機能に影響しないもの	B	・維持管理区分A以外の橋長80m以上の橋梁 ・早期復旧が困難な橋梁 【泰山橋】【啓南大橋】【見返橋】【緑泉橋】【川岸大橋】 ・芦別木質バイオマス開発協同組合への唯一のアクセス経路 【降星橋】
	【事後維持管理】 ・使用できるだけ使用すればよいもの ・第三者影響度に関する安全性を確保すればよいもの	C	・橋長80m未満の橋梁
低	【統廃合検討】 ・利用状況や橋梁の損傷等により路線の廃止や橋梁の撤去等を行うもの	D	・廃止検討橋梁

芦別市　橋梁長寿命化修繕計画一覧表

施設諸元				点検結果及び点検計画			修繕計画			
橋梁名	路線名	架設年度	橋長（m）	点検年度	判定区分	次回点検年度	対策内容	着手（予定）年度	完了（予定）年度	全体概算事業費（百万円）
啓南大橋	市道上芦別西芦別線	1958	149.4	2023	Ⅱ	2028				
見返橋	市道旭公園線	1972	87.4	2025	Ⅰ	2030				
泰山橋	市道上芦別旭線	1979	158.8	2023	Ⅱ	2028				
緑泉橋	市道東頼城本通	1986	98.0	2022	Ⅱ	2027				
川岸大橋	市道頼城川岸線	1999	125.0	2022	Ⅱ	2027				
八月橋	市道頼城川岸線	1960	20.6	2022	Ⅱ	2027				
大進橋	市道頼城川岸線	1960	57.4	2021	Ⅲ	2026	橋台：洗堀対策、断面補修、橋脚：断面補修	2023	2024	30
辺渓橋	市道旭本通東線	1968	20.8	2021	Ⅱ	2026				
墓地橋	市道新城墓地線	1970	18.5	2023	Ⅲ	2028	伸縮装置：取替、支承：補修、桁：塗装	2025	2026	40
野花南橋	市道野花南４４線	1975	21.4	2022	Ⅱ	2027				
雲龍橋	市道新城本流線	1975	23.0	2023	Ⅱ	2028				
豊岡橋	市道豊岡本通	1976	26.5	2023	Ⅱ	2028				
東黄金橋	市道黄金新城線	1977	28.0	2025	Ⅰ	2030				
南1線1号橋	市道豊岡南1線	1977	17.7	2025	Ⅰ	2030				
三又橋	市道豊岡新城線	1977	15.9	2023	Ⅱ	2028				
班渓橋	市道班渓山線	1978	15.7	2025	Ⅰ	2030				
二股橋	市道常磐新城線	1981	24.1	2021	Ⅰ	2026				
苗畑橋	市道油谷本通	1982	18.7	2023	Ⅱ	2028				
東1番橋	市道新城東1番線	1982	27.0	2023	Ⅱ	2028				
北1線橋	市道黄金北1線	1982	27.1	2023	Ⅱ	2028				
天狗山橋	市道天狗山4線	1987	21.5	2021	Ⅰ	2026				
黄金橋	市道黄金本通	1988	33.6	2021	Ⅰ	2026				
不老橋	市道黄金本通	1988	21.8	2025	Ⅰ	2030				
黄金学校前橋	市道黄金零号線	1988	36.1	2022	Ⅱ	2027				
野花南1号橋	市道野花南中央線	1988	25.7	2022	Ⅰ	2027				
旭中の沢橋	市道旭北1線	1990	25.1	2021	Ⅰ	2026				
黄金水松橋	市道黄金本通東線	1991	23.6	2021	Ⅰ	2026				
盤の沢橋	市道旭北1線	1991	26.2	2021	Ⅰ	2026				
降星橋	市道スターパークライン	1993	19.2	2023	Ⅱ	2028				
新御料橋	市道常磐御料線	1997	47.2	2021	Ⅰ	2026				
晩成橋	市道旭本通東線	2000	29.1	2021	Ⅰ	2026				
ゆたか橋	市道新城北線	2000	20.6	2022	Ⅱ	2027				
鏡橋	市道黄金二又線	2002	18.0	2022	Ⅲ	2027	床版：ひび割れ補修、橋台：断面補修	2024	2025	1
野花南22号橋	市道野花南22号西線	2005	18.2	2022	Ⅲ	2027	橋台：洗堀対策	2027	2028	20
三角2号橋	市道常磐三角線	1961	8.5	2025	Ⅲ	2030	橋台：洗堀対策、断面補修	2025	2026	10
矢野橋	市道野花南４７線	1961	10.4	2022	Ⅱ	2027				
桜川橋	市道みやもと通	1965	3.0	2022	Ⅱ	2027				
天狗山2号橋	市道天狗山2線	1967	9.6	2022	Ⅱ	2027				
豊岡2号橋	市道豊岡南1線	1968	7.0	2025	Ⅲ	2030	橋台：洗堀対策	2029	2029	5
豊岡3号橋	市道豊岡南1線	1968	6.7	2025	Ⅰ	2030				
二又4号橋	市道黄金本通東線	1971	14.6	2023	Ⅲ	2028	橋台・橋脚：断面補修	2025	2025	1
豊岡1号橋	市道豊岡南1線	1974	6.4	2025	Ⅰ	2030				
増田の沢橋	市道本町9号増田沢線	1975	2.4	2022	Ⅱ	2027				

芦別市　橋梁長寿命化修繕計画一覧表

施設諸元				点検結果及び点検計画			修繕計画			
橋梁名	路線名	架設年度	橋長（m）	点検年度	判定区分	次回点検年度	対策内容	着手(予定)年度	完了(予定)年度	全体概算事業費（百万円）
南1線3号橋	市道豊岡南1線	1976	6.3	2025	Ⅰ	2030				
栄橋	市道豊岡本通	1977	10.4	2025	Ⅰ	2030				
苺沢橋	市道野花南落辺線	1980	5.0	2022	Ⅰ	2027				
南1線橋	市道新城水松線	1981	3.1	2023	Ⅱ	2028				
橋谷田橋	市道豊岡4線	1982	8.4	2025	Ⅲ	2030	橋台:洗堀対策	2029	2029	5
金剛橋	市道野花南22号西線号	1982	4.8	2022	Ⅰ	2027				
6線2号橋	市道新城6線	1983	3.0	2022	Ⅰ	2027				
遠藤の沢橋	市道常磐新城線	1984	12.5	2025	Ⅰ	2030				
6線1号橋	市道新城6線	1985	14.5	2021	Ⅰ	2026				
平和橋	市道上芦別40線	1986	8.0	2022	Ⅱ	2027				
田中橋	市道新城東1番線	1986	2.1	2021	Ⅰ	2026				
菅原橋	市道黄金細谷線	1988	12.5	2023	Ⅰ	2028				
上野橋	市道豊岡本通	1990	12.1	2025	Ⅰ	2030				
山本橋	市道新城東1番線	1990	10.0	2023	Ⅰ	2028				
たきみ橋	市道野花南滝里線	1994	12.5	2022	Ⅱ	2027				
新城7線橋	市道新城7線	1996	14.3	2022	Ⅱ	2027				
石川橋	市道新城6線	1999	11.5	2023	Ⅰ	2028				
浅川橋	市道新城東1番仲線	1999	9.1	2023	Ⅰ	2028				
吉田の沢橋	市道小林の沢線	2004	10.1	2021	Ⅰ	2026				
今野橋	市道豊岡北2線	2005	4.7	2025	Ⅰ	2030				
茶畑橋	市道豊岡5線	2005	6.0	2025	Ⅰ	2030				
南1線2号橋	市道豊岡南1線	2025	6.8	2020	Ⅲ	2026	架替	2024	2025	45
南1線4号橋	市道豊岡南1線	2011	12.0	2025	Ⅰ	2030				
新城2線橋	市道新城2線	2012	3.0	2023	Ⅰ	2028				
平班橋	市道福住平岸線	2007	67.0	2021	Ⅰ	2026				
芦富橋	市道泉1線	1987	15.2	2025	Ⅱ	2030				
新三角橋	市道常磐三角線	2018	22.1	2025	Ⅰ	2030				